

講義名	研究演習
講義コード	25042
担当教員	森脇 丈子
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
備考	

ゼミ
研究演習
学部
全学部
学科
全学科
演習名
森脇 丈子ゼミ（消費経済論，生活経済論）

概要説明

消費活動は私たちの生命を維持するだけでなく、新しい商品や雇用を生み出す源泉にもなっています。消費するという消費者の立場だけではなく、消費するために必要な収入やそれを支える労働がどのようになっているか、流通の仕組みや小売業が国際競争と消費者の経済状態・意識の変化などに対応してどのような変化をとげようとしているのか、消費文化とはいったい何か、消費文化の形成やそれらの時代ごとの特徴など、消費社会を分析する視角は多様に存在しています。

私たち消費者は、企業によって提供される商品消費するだけの存在ではありません。自分らしい消費のあり方とは何かを探究し、かつ、自分たちの生活する社会にとってより安定的な生活と消費と労働の形について研究していきます。

学位
経済学修士

教員よりの要望

生活と経済が緊密に結びついていることを学び生活するなかで実感してもらいたいと思っています。そのためには、日頃から新聞・雑誌・ニュースなどから情報を得て、それらを素材にして考える習慣を身に付けておくことより効果的です。

- 1．自分の頭のなかで考えたことを口に出して表現してみること、相手に伝わる表現や説明ができているかを常に想定しながら正確に話ができるようになること
- 2．社会状況の変化のなかで自分たちの生活状況を把握できるようになること。

上記の両方の力が身につけられるよう、毎回のゼミでの積極的な発言を期待します。

消費社会における生活や労働の実態に関心をもち、日頃から新聞・雑誌・ニュースなどから情報を収集し、これらに関するある程度の知識を持っている学生の参加を待っています。または、現在の学びの力量にかかわらず、本や資料を読み、情報収集し、議論することを厭わない粘り強い学生を望みます。夏休み、春休みには宿題を出します。上記の力を身に付けるため、宿題に取り組んでください。

教員英字氏名
MORIWAKI Takeko

研究室

5411

最終学歴

立命館大学大学院経済学研究科後期博士課程

主な研究活動・社会活動・研究業績

消費のあり方、消費活動に影響を与える諸条件（ex.働き方、収入、企業や社会の現状）について、日本とフランスを中心にとりあげ、研究しています。

主な卒業論文のタイトル

- ・日本の漁獲量と消費量の推移について
- ・効率の良い筋力トレーニング・健康的なダイエット
- ・生活習慣病と健康的な体作り
- ・台湾の問題と中米の関係
- ・カーブの企業戦略と優勝・人気の理由
- ・マラソンにおける効果的な練習と食事について
- ・音楽の成り立ちと現代音楽市場の状況

- ・東京ディズニーランドから学ぶゲストの心理学
- ・誰にでもわかりやすいアレルギー表示
- ・食の安全－食品偽装が起こる要因と問題解決への提案－
- ・女性と結婚
- ・日本の子育ての現状と今後の対策
- ・母性神話について－母性概念の変遷と女性の生き方の変化－
- ・女性の美意識
- ・山形屋はなぜ鹿児島で唯一の百貨店似なれたのか
- など

趣味・特技

- ・山歩き
- ・読書

所属

人間社会学部

所属学会

日本流通学会 日仏社会学会 日仏経営学会 経済理論学会 日本消費経済学会

専門分野

消費経済論，生活経済論，生活様式論

選考方法

- 1．提出書類の内容
- 2．面接 の2点で選考します。

基本的には、挨拶ができて時間を守れる人、かつ、やる気のある人をお待ちしています。

すでに、次の科目のうち少なくともどれか一つを受講しているか、今後受講予定である人を優先します。

[「消費文化論」](#) [「消費者問題論」](#) [「生活経済論」](#) [「NPO論」](#) [「経済学入門」](#) [「アミューズメント事業論」](#)

担当科目

消費文化論，消費者問題論，生活構造論，NPO論，経済学入門，アミューズメント事業論

研究演習，研究演習，卒業演習

備考

評価方法

- 1．ゼミへの出席
- 2．ゼミでの個人報告
- 3．毎時間の議論への参加

上記の3点で総合評価を行います。

出席日数の足りない人、あるいは個人報告の準備をしてこない人、あるいは議論に参加しない人は単位が修得できないことがあります。ゼミ運営にしっかりと参加して単位を修得してください。